

永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ほぼらだより
令和6年7月発行・第207号
認定こども園西九州大学附属 三光保育園
TEL:0952-31-6877

7月と8月の「子育て支援事業」のお知らせ

①実施日

- ・7月3日(水)…東与賀よかよかサークル
- ・7月16日(火)…なかよシミックス(水遊び)(先着10組)
- ・7月17日(水)…赤ちゃんの日(水遊び)(先着10組)
- ・7月18日(木)…育児講座(トイトレーニング)(先着6組)
- ・7月23日(火)・25日(木)・26日(金)…フリーデー
- ・8月8日(木)…高木瀬あいあいサークル
- ・8月19日(月)…食育講座「管理栄養士さんと食育について話そう」
(先着6組)
- ・8月22日(木)…高木瀬あいあいサークル
- ・8月26日(月)・27日(火)・28日(水)…フリーデー

※フリーデーは事前のご予約はいりません。

②時間:10時~12時

③開催場所:子育て支援センター・運動場

④駐車場:三光保育園駐車場

※三光幼稚園の駐車場と間違わないようお願いいたします。
くすくすパン屋さんとファミリークリニックの間の道を南側に入ってください、左手に三光保育園があります。

⑤申し込み方法:電話予約

7月分の申し込みは、7/1~9時半~17時です。

8月分の申し込みは、8/1~9時半~17時です。

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お出かけの前に必ず、ホームページで**支援事業の有無をチェックしてください。子育て支援のラインアカウントがありますので、ライン登録をしていただくのが、一番お勧めです。**

♪食育講座のお知らせ♪

親子クッキング教室を行います。

対象年齢:3歳以上~小学生低学年

両日ともに、先着**10組**とさせていただきます。

日時:① 8月6日(火)・② 8月7日(水)

時間: 10:00~13:00

内容:6日:「親子で作ろう!カラフルクッキング」

メニュー:ミニハンバーガー&フルーツサンド&フルーツスムージー

7日:「夏野菜を食べよう!」

メニュー:夏野菜キッシュ、冷たいコンソープ

※詳しくは、7月8日にさんこうほぼらのHPでお手紙をアップします。ご覧いただきお申し込み下さい。ぜひご参加ください。

「デジタル時代の子育て」

8年程前、子育て支援に参加した小さなお子様が保育者から絵本の読み聞かせを聞いた後、小走りで保育者の膝上に置かれた絵本に近づき、表面を指でなぞっているのを見ました。“アッ!ひょっとして?”と、家庭でタブレットでの読書が普及し始めたのを感じました。今ではデジタル環境が一層進み、幼児から老人まで読書環境も大きな変化が起きています。

今年の2月に東大の発達保育実践政策額センター(通称CEDEP)で行われたシンポジウムで、保育者が日頃研修会等でお世話になっている先生方からのデジタル時代の子どもの読書と発達の関連性について報告がありました。その中で日頃から気になっていた、“子どもの読書には紙の絵本の方が好ましい”という未就学児の通説について、「紙の本と電子書籍を比較した実験結果」がありました。「紙とデジタルでは絵本の内容理解には差はなく、幼児は初めて出会ったデジタル絵本でも紙の絵本と同じように楽しむことができた」という報告と、「読み聞かせは、量より質が子どもの発達に影響する」ということ、「読み聞かせの質とは、読み聞かせの際に、問いかけたり声色をまねたりして読み聞かせの際にどう工夫して読むか」が影響を及ぼすという報告でした。この調査では、3~4歳にかけての発達において、言葉の理解や情動理解に良い影響を及ぼしているそうです。しばらく雨の日々は続きそうですね。お子様と読み聞かせを楽しみましょう。

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九州大学短期大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

(受付時間:平日の9:30~17:00まで)

さんこう・ほぼら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】○月~金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】 ○9:00~12:30、13:30~16:00

※12:30~13:30 昼休み・準備の為閉園

【お知らせ】

※熱中症指数が高い場合は、安全上中止します。

※園行事の為、ご利用できない場合があります。

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

※ご希望の場合は電話でお問い合わせください。

「シニアサロンほぼら」

子育て支援センター「さんこうほぼら」では、月に1回地域の方におこし頂き、楽しいひと時を過ごしています。

日時: 7月4日(木)七夕会

8月29日(木)パスハイク

「子どもの感情表現を助ける」

西九州大学 看護学部看護学科 應戸麻美

近年感情のコントロールが苦手な子どもが増えて来ているようです。その結果、子どもに限らず痛ましい事件も起きています。確かに発達等の障害によって感情のコントロールが出来にくい子どもさんもおられます。

学生をある施設実習に引率していった時のことです。小学生から高校生くらいまでの子どもさん達が1週間の自分自身の振り返りをする治療プログラムミーティングに参加させてもらいました。子どもさん達は1人1人、その出来事の中で、自身がどのような気持ちでその場を体験したのか、場合によっては大人よりも的確にその感情を表現出来ている場面に衝撃を受けました。施設に入られた頃は、感情がコントロール出来ず、問題と言われる行動があった子どもさん達です。しかしこれらの訓練によって、ここまでの自分自身を客観的に表現でき、将来自身の気持ちを他者に伝え、必要な助けを得て今よりも豊かな人間関係を創ることが出来ると言う希望に繋がると感じました。

人間にとって感情をコントロールすることは、豊かな人間関係には欠かせないものです。子どもはその発達において、乳児期から5、6歳にかけて、感情は急激に発達すると言われてます。生まれたばかりの子どもは、お腹が減ったりオムツがぬれたりすることで不機嫌になって泣きますが、これは泣くことで感情を表現し、周囲の大人に助けを求めることを学習した結果と言えます。一方でお腹がいっぱいになり、周囲の大人にあやしてもらって、機嫌よく笑います。人間にとって笑うということは、社会的動物として備わった能力であると言われてます。少しずつ感情は発達し、3歳くらいになるとさらに活発な感情表現が出来るようになります。怒ったりイライラしたりする姿も見せるようになります。そのような感情表現の中に、私も我が子の成長を感じてきました。早い子どもさんだと5歳くらいから、自分の感情を言葉で的確に表現し始めます。

しかし、子どもにとって怒りや悲しみなど強い感情は、その気持ちの表現や対処が上手く行かないこともあります。その結果衝動的な行為を見せる場合があります。例えば、お友達と喧嘩をして、怒りや悲しみによって興奮状態、大泣きをするなどがあつたとき、まずはその理由を落ち着いて良く聴くことが必要です。そんな時はどうすれば良いのかと言う方法論ではなく、その気持ちを共感することが必要かもしれません。「凄く嫌で、頭がわーってなったのかな?」、大人の(そんな気持ちだろう)という決めつけでなく、その表現がその子の気持ちにフィットするまで一緒に話し合うことも時には必要になります。その過程で、子どもが落ち着きを取り戻すこともあります。その気持ちを共有し落ち着いたところで、相手の子どもの気持ちを考えることが出来るのではないかと思います。私がこのような話をしなくても、読者は今までの子育ての中で、その子どもさんに応じた感情表現を上手く支えて来られていると思います。これは、仕事に疲れ果て我が子を両腕に抱えて眠るのを習慣にしまった私の、感情豊かな親子関係の機会を逃した反省文なのかもしれません。